

I

教 育 行 政

第1節 教育計画

令和4年度 富山県教育委員会重点施策

富山県教育委員会では、令和4年3月、令和4年度から令和8年度を対象期間とする「第3期富山県教育振興基本計画」を新たに策定しました。

「第3期富山県教育振興基本計画」は、「第2期富山県教育大綱」（令和3年3月策定）に即し、第2期大綱において示された基本理念及び9つの基本方針、また新たに掲げた3つの横断的な取組みや、重点的・優先的に取り組むべき10の重要テーマを確実に実現するため、今後5年間に必要な教育施策や取組みを体系的に整理したものです。

この「富山県教育委員会重点施策」は、「第3期富山県教育振興基本計画」に示した新たな取組みの各年度の実施計画となるものであり、実施に当たっては、市町村教育委員会をはじめ、関係機関、諸団体等と協力しながら、学校、家庭、地域の相互の連携のもとに、実効性のある総合的な教育行政の推進に努めていきます。

今後とも「教育県」富山の良き伝統を引き継ぎ、地域社会と連携し協働する「チーム富山教育」をつくりあげ、子どもから大人まで、それぞれの段階で、ふるさと富山に誇りと愛着を持ち、広く世界に目を向け、夢や志、情熱を持って地域社会や全国、そして世界で活躍し、未来を切り拓く人材の育成に積極的に取り組み、「とやまの新しい教育」を創造し、「真の人間力」を育む本県ならではの教育を推進します。

こうした本県の教育、学術及び文化の振興をとおして、すべての県民が生き生きと自分らしく暮らせる「真の幸せ（ウェルビーイング）」の向上を目指すとともに、SDGs（持続可能な開発目標）に掲げられた「質の高い教育」を目指し、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会を実現していきます。

基本方針 1 学校、家庭、地域で取り組む子どもの成長支援**【目標】**

すべての子どもたちが、学校、家庭、地域の連携・協力のもと、安全・安心な環境の中で、基本的な生活習慣や社会性を身につけ、豊かな人間性を育み、健やかに成長すること。

方向性① 子どもの健全な育成と地域の教育力の充実

学校、家庭、地域、企業等が連携し、それぞれの役割と責任を自覚しつつ、地域全体で子どもを育む教育環境づくり、チーム富山の教育を推進する。

- **学校・家庭・地域の連携・協力による地域全体で子どもを育む教育環境づくりの推進**
放課後子ども総合プラン推進委員会の開催などにより、効果的な運営方法について検討するとともに、県内全般における総合的な放課後対策の推進を図りながら地域全体で子どもを育む教育環境づくりを推進する。 (生涯学習・文化財室)
- **学校評価の推進**
学校の教育活動についての確に評価を行い、その結果を公表する学校評価を全公立学校で実施するとともに、その充実を図る。 (小中学校課)
- **学校評議員事業** [427 千円]
学校評議員制度について学校運営協議会を導入する学校を除き、全県立学校で実施する。 (県立学校課)
- **社会に学ぶ「14 歳の挑戦」事業** [P.17 に事業概要]
 (小中学校課)
- **とやまの子どもを守り育てるネット利用推進事業** [927 千円]
教員を対象とした「学校ネットルールづくり」に関する研修会の実施と、児童生徒の不適切なネット利用を防止するため、ネット上の不適切な書き込みをネット監視員が検索し、学校へ情報を提供するネットパトロールを実施する。 (小中学校課)
- **土曜日の豊かな教育活動推進事業** [12,363 千円] [P.7、46 にも記載]
地域人材を活用した多彩な教育活動を推進するため、土曜日の学習活動や授業を支援子どもたちにとってより豊かで有意義な土曜日を実現する。(県立学校は「地域学校協働活動推進事業」で実施) (生涯学習・文化財室、県立学校課)

1 学校、家庭、地域で取り組む子どもの成長支援

- **はつらつ公民館学び支援事業** [2,000 千円]

[P. 35、37、46 にも記載]

公民館を拠点に、地域課題の解決に向けた「学び」のモデル的な活動を行う「地域振興型」5館、子どもたちのふるさとの学びや身近な自然体験活動を推進する「体験交流型」28館を支援する。



はつらつ公民館学び支援事業
野菜作り体験教室

- **放課後子ども教室推進事業** [29,151 千円]

[P. 46 にも記載]

放課後や週末等に学校の余裕教室等を活用し、すべての子どもたちの安全・安心な活動場所を確保し、地域の方々の参画を得て、子どもたちに学習や様々な体験・交流活動の機会を定期的・継続的に提供する。



放課後子ども教室

- **青少年自然の家の運営** [67,813 千円]

自然環境の中での集団生活を通じて、心身ともに健全な青少年の育成を図るため、呉羽青少年自然の家及び砺波青少年自然の家を運営する。

- **立山荘の運営** [6,261 千円]

県内小学校等による集団立山登山や観光客の宿泊・休憩施設として立山荘を運営する。

(生涯学習・文化財室)

- **中学校放課後学習支援推進事業** [5,668 千円] [P. 7 にも記載]

希望する中学生を対象に、放課後や週末等に学校の余裕教室等を活用して、大学生や教員OBなど地域住民の指導やICTの活用等による学習支援を実施する

(生涯学習・文化財室)

- **高等学校等就学支援金等** [1,883,824 千円]

すべての意思ある生徒が安心して教育を受けられるよう、一定の収入額（年収910万円程度）未満の世帯に「就学支援金」及び「学び直し支援金」を支給する。

また、高等学校専攻科に通う低所得世帯の生徒に対して授業料の支援を行う。

- **県公立高等学校奨学のための給付金事業** [173,612 千円]

授業料以外の教育費負担を軽減するため、公立及び国立の高等学校等の低所得世帯の生徒に対して「奨学のための給付金」を支給する。

(生活保護受給世帯：32,300円、非課税世帯の第1子：114,100円、
第2子以降：143,700円、通信制：50,500円、専攻科：50,500円)

- **奨学資金事業** [64,255 千円]

経済的理由で修学が困難な高校生等に対し奨学資金の貸与を行う。(県立学校課)

方向性② 家庭の教育力の向上

基本的な人格形成の場である家庭の教育力の向上を、学校、地域、企業等が連携して支援するとともに、乳幼児期からの子どもの望ましい生活習慣の定着や非認知能力の育成に向けた取組みを推進する。

- とやま親学び推進事業 [3,365 千円]

「とやま親学び推進協議会」を年2回開催するとともに、140名の推進リーダー等を養成・配置し、乳児から中学生までの子どもをもつ親が自分の役割や子どもとのかわり方を学ぶ「親学び講座」の充実・推進を図る。また、経済団体等と連携して、10企業において家庭教育講座を開催する。



親学び講座

- ほっとネッ！とやま家庭教育ナビ事業 [2,500 千円]

基本的な生活習慣や親子のコミュニケーションなどの子どもの発達段階に応じた家庭教育に関する様々な情報を動画等で提供するなど、親の学びや成長を支援する環境を整備する。

- 家庭教育総合相談事業 [5,102 千円]

子育て情報ホームページ「子育てネッ！とやま」による情報提供や、電話相談やカウンセリング、電子メール等を活用した家庭教育に関する総合的な相談体制を整備する。

- 子どもの読書活動推進事業 [1,960 千円] [P.7にも記載]

平成31年3月に策定した第四次「富山県子ども読書活動推進計画」（計画期間：令和元年度からおおむね5年間）に基づき、家庭・地域・学校における子どもの自主的な読書活動を推進する。
(生涯学習・文化財室)

- 「朝から元気とやまっ子」食育・健康教育推進事業 [P.19に事業概要]

(保健体育課)

方向性③ 児童等の安全の確保

市町村、学校、家庭、地域、関係団体等と連携して、子どもの見守り活動や安全教育、不審者情報等の共有化により、児童生徒等の安全を確保する。

- **学校安全教育推進事業** [424 千円]

学校の安全管理及び安全教育の取組みを推進するため、学校安全アドバイザーを 10 校に派遣する。

- **防犯・防災教育指導者講習会の開催（国委託事業）** [266 千円]

学校の実践的な安全教育、防災教育の充実を図るため、教職員等を対象として実施する。

- **子どもの登下校安全対策事業** [1,744 千円]

登下校時等の子どもの安全を確保するため、市町村で委嘱するスクールガード・リーダーの配置や、学校安全パトロール隊の活動に要する経費等について支援する。

(保健体育課)

基本方針2 子どもの可能性を引き出し、才能や個性を伸ばす教育の推進

【目標】

子どもたちが、基本的な知識・技能とともに探究力や問題発見・解決能力を身につけ、グローバル化やAIやIoTなどの技術革新などが急速に進展する社会の中で、多様な価値観を持つ人々と連携、協働しながら、自らの可能性を発揮し未来を切り拓いていく力を育むこと。

方向性① 確かな学力の育成

知識及び技能の確実な習得とともに、思考力、判断力、表現力等の育成、学びに向かう力、人間性等の涵養を図る。

また、児童生徒の実態を把握し、家庭学習も含めた学習習慣の定着を図り、学力向上に向けた取組みを推進する。

さらに、知的好奇心、学習意欲、探究心、科学分野への興味や関心を高め、その能力を伸ばす教育を推進する。

- とやま型学力向上総合支援事業（小・中・義務教育学校）[10,836千円]

[P.17にも記載]

全国学力・学習状況調査等の結果分析と、それを学校改善、授業改善に有効に活用するための体制の充実を図る。市町村教育委員会の学力向上の取組みに対して総合的な支援を行うことにより、児童生徒の確かな学力の育成を図る。

- 令和のとやま型教育推進事業（小・中・義務教育学校）[9,150千円]

全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現を目指し、重点とする研究テーマを設け市町村教育委員会と連携して研究を進め、子供たちに必要な資質能力の育成を図る。

- 幼児教育の質の向上推進事業 [5,800千円] [P.20にも記載]

幼児教育の質の向上を図るため、国公立幼稚園・保育所・認定こども園に対して、「幼児教育センター」による幼児教育アドバイザー等を活用した研修支援、幼小接続の推進等、幼児教育の推進体制を構築する。

- 基礎的な学力の定着

県内全ての小学生が共通の問題に取り組む「漢字・計算チャレンジテスト」や、個に応じたきめ細かな指導の充実、朝学習や夏休み中の学習相談の実施等の取組みを行う。

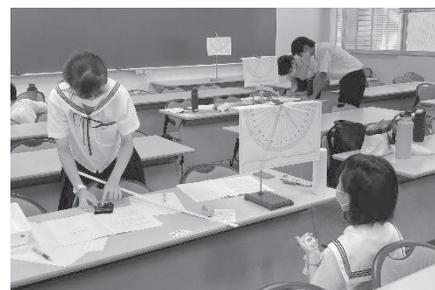
(小中学校課)

2 子どもの可能性を引き出し、才能や個性を伸ばす教育の推進

- ㊦とやま新時代創造プロジェクト学習推進事業 [P. 28 に事業概要] (県立学校課)
- 土曜日の豊かな教育活動推進事業 [P. 6 に事業概要]
(生涯学習・文化財室、県立学校課)
- 中学校放課後学習支援推進事業 [P. 7 に事業概要]
- 子どもの読書活動推進事業 [P. 8 に事業概要] (生涯学習・文化財室)
- 小学校専科教員配置事業 [P. 24 に事業概要] (教職員課)

- とやま科学オリンピックの開催（第 11 回）[8,424 千円]

科学に対する関心を高めるとともに、科学的才能を引き出して伸ばすことを目的に、中・高校生を対象に、数学・理科を中心とした思考力を問うとともに、実験・観察も取り入れた「とやま科学オリンピック」を開催する。



とやま科学オリンピック 2021
高校部門（物理分野）

- 「科学の甲子園」「科学の甲子園ジュニア」代表チーム研修事業 [532 千円]
「科学の甲子園」「科学の甲子園ジュニア」の全国大会に出場する本県代表チーム（中・高校生）の研修を実施する。 (教育企画課)
- ふるさととやまの自然・科学探究推進事業 [830 千円] [P. 37、51 にも記載]
富山の自然等を通して科学的な視点を養う小学生向けの副読本（R4 より電子ブック化）活用のためのリーフレットを作成し、授業や地域学習、家庭学習などで活用し、自分で目的をもって自然に触れ、観察することで探究する態度や科学する心を育てる。また、観察・実験等の体験学習を積極的に行った児童へ認定証を発行する。 (小中学校課)
- スーパーサイエンスハイスクール事業（国委託事業）[1,190 千円]
富山中部高校において、探究力や科学的思考力等を身につけた科学技術系人材育成のため、高大連携による課題研究、英語による研究発表指導等を実施する。 (県立学校課)

方向性② ICTを活用した教育の推進

ICTを活用し、児童生徒の知識及び技能の確実な習得とともに、思考力、判断力、表現力、学びに向かう力、人間性等の育成を図る。

- **教育環境のデジタル化推進事業** [2,074千円] [P.51にも記載]

AIやIoT等の技術革新やグローバル化などの進展を見据え、教育環境のデジタル化を統括する「教育CIO・CDO」やその補佐役等で構成する「富山県教育DX推進会議」を運営し、学校におけるデジタル環境の整備やICT教育の総合的・計画的な推進を図る。

(教育企画課)

- **ICT教育推進事業** [77,297千円] [P.17、29にも記載]

これまで学校ネットワーク環境や1人1台端末の整備等を進めてきた中、児童生徒の資質・能力が確実に育成できるICT環境の実現に向け、引き続き教員のICT活用指導力の向上、効果的で質の高い授業を展開するためのICT教材の提供、専門知識を持つ教員の養成等を進める。

(県立学校課)



ICT教育推進事業

- **GIGAスクール運営支援センター整備事業** [33,349千円]

学校におけるICT環境の運営を支援するため、「GIGAスクール運営支援センター」による端末・ネットワークトラブル等に対する教職員等からの問合せ対応を行うとともに、情報通信技術支援員の派遣による学校現場への支援を行うもの。

(教育企画課、県立学校課)

- **富山県教育情報通信ネットワークを活用した教育の情報化の推進** [51,915千円]

富山県教育情報通信ネットワークにより、全県立学校に整備された生徒用LANやコンピュータ等のICT学習環境を活用して、教科指導による学力の向上を図るとともに、情報化に対応した新しい資質の育成に向けた情報教育を進めるなど、ICTを活用した教育を充実する。

(教育企画課)

- **GIGAスクール構想推進事業** [3,750千円] [P.17にも記載]

1人1台端末等をより一層活用した効果的な授業実践のため、市町村立学校教員を対象とした研修等を実施する。

(小中学校課)

方向性③ 社会で生きる実践的な力の育成

将来の夢や目標を持ち、自らの人生を主体的に切り拓いていく力やチャレンジする精神、生涯にわたり学び続ける意欲を育む。

また、積極的に社会に参画、貢献し、信頼される若者に成長するよう、子どもが自己肯定感・自己有用感を持って、コミュニケーション能力や課題解決能力、職業観や勤労観、家族観、確かな学力を身につけるための教育を推進する。

- 富山型キャリア教育充実事業 [12,788 千円]

[P. 50 にも記載]

高等学校でのインターンシップの推進など、発達段階に応じたキャリア教育を充実し、地域を支え富山で活躍できる人材を育成する。

高等学校では、アカデミック・インターンシップなどを含めた、「社会へ羽ばたく『17歳の挑戦』」を推進する。また、「高校生職業教育プログラム推進事業」を実施し、普通系学科における職業教育プログラムを推進する。



アカデミック・インターンシップ

(県立学校課)

- 私立高等学校キャリアプランニング推進事業 [4,580 千円] [P. 50 にも記載]

私立高等学校にキャリア教育アドバイザーを派遣し、就職支援やインターンシップの推進、県内企業への理解促進を図る。

(経営管理部所管事業)

※ 枠で囲まれた事業等は他部局所管事業 (以下同様)

- 高校生とやま県議会事業 [880 千円]

高校生の代表 40 人が、富山県のよりよい未来を創るための意見交換や議会体験等を通して、政治参加意識や社会参画意識を高める。



高校生とやま県議会

- 富山県青年議会事業 [400 千円]

各市町村や青年団体等から推薦された青年議員 40 人が、よりよい県政の方向性等について若者の視点で学習してきた成果を生かし、県当局に質問や提案をする。

(生涯学習・文化財室)

- 児童生徒が主体的に進める活動への支援

福祉・ボランティア活動やインターンシップ、児童生徒自身の問題を解決するための生徒会活動、学級活動等に対し、家庭や地域の教育力も活用しながら支援する。

(県立学校課、小中学校課)

2 子どもの可能性を引き出し、才能や個性を伸ばす教育の推進

- **社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業** [P. 21に事業概要] (小中学校課)
- **とやまの小・中学生ライフプラン教育充実事業** [1,046千円] [P. 20、50にも記載]
「富山で学ぶ・働く・結婚する・産み育てる・暮らすなど、富山の良さを知る」児童生徒が増加するように、ライフプランの冊子（R4より中学生版を電子ブック化）の活用や地域で活躍する方の話、赤ちゃんとのふれあい体験を通し、ふるさと教育を含めたライフプラン教育について体系的に進める。 (小中学校課)
- **とやまの高校生ライフプラン教育充実事業** [2,000千円] [P. 20、50にも記載]
富山で働き子育てする良さと自らの生き方に関する副教材の作成・活用や、赤ちゃんふれあい体験、産婦人科医等の特別授業を支援することにより、ライフプラン教育の普及・充実を図る。
- **☒とやまの高校生マイスター育成事業** [3,500千円]
ものづくり人材や6次産業人材など、富山の地域を支える人材を育成するとともに、DXに対応した職業人材の育成を図る。 (県立学校課)
- **☑親子でチャレンジ小学生ワクワク体験教室の開催** [1,000千円]
科学技術人材の育成及び職業観・勤労観の育成を図るため、小学生が親子で科学工作・実験に取り組むとともに、関連する科学技術等を扱う県内企業等の見学を実施する。
- **☑農業教育環境整備事業** [P. 29に事業概要]
- **科学技術教育設備充実費** [P. 29に事業概要] (教育企画課)

方向性④ グローバル社会で活躍できる人材の育成

ふるさとへの誇りと愛着を持ち、広く世界に目を向け、国際的な視野を有し、未来を自ら切り拓き、富山や全国そして世界を舞台に活躍する人材を育てるため、探究力、課題解決能力、コミュニケーション能力及び高い英語会話力を育む。

- 小学校専科教員配置事業 [P. 24 に事業概要] (教職員課)
- とやまグローバル人材育成促進事業（国委託事業） [644 千円]
高度な英語力をもち、世界で活躍するグローバル人材を育成するため、市町村立学校の教員を対象にした研修会を充実させるとともに、小・中・義務教育学校における英語教育の研究推進を支援し、教員の英語指導力の向上を図る。(小中学校課)
- 英語・グローバル教育充実事業（一部国委託事業） [2,000 千円]
高度な英語力をもち、世界で活躍するグローバル人材を育成するため、国際バカロレアに係る調査研究を行うほか、各校で設定した学習到達目標の活用を促進し、全県で英語指導の一層の充実を図る。
- とやま型スーパーグローバルハイスクール事業 [8,226 千円] [P. 51 にも記載]
ふるさとに誇りと愛着を持ちながら、幅広い教養や問題解決能力等の国際的素養を身に付け、地域や国際社会が抱える課題を解決できるグローバル人材を育成するため、県立高等学校 9 校をとやま型グローバルハイスクールに指定し、海外大学等での研修等の充実を図る。
- 外国語指導助手〔ALT〕の配置 [180,677 千円]
- 高等学校生徒海外派遣事業 [18,271 千円] [P. 37 にも記載]
高校生等 20 名を海外に派遣し、ふるさと富山への理解や英語による富山の魅力発信などについて事前研修を行うとともに、派遣地での生徒間交流などによる異文化への理解を通じ、世界とのつながりの中で未来の郷土を支え、社会の発展に貢献するグローバル人材の育成を図る。
- とやまの高校生留学促進事業 [5,147 千円]
高校生等の異文化理解を深め、我が国と海外の国との相互理解と友好親善に寄与する人材育成のため、県内高校生等に留学支援金を給付し、海外留学の促進を図る。(県立学校課)

方向性⑤ 教員の資質向上、働き方改革の推進

優れた教育理念や指導技術の継承、教員研修の充実等により、教育への情熱や使命感をもつ勤勉で、新たな教育的課題に適切に対応できる実践的指導力を有する教員を育成するとともに、教員の大量退職が見込まれる中、優れた教員の確保と教員が児童生徒と向き合いやすい環境の整備に努める。

- **キャリアステージ等に応じた研修の充実** [5,448千円]

若手教員研修（初任者研修、2年次研修、3年次研修）、6年次教職員研修等の年次研修において、「具体的な事例や体験を通して学ぶ研修」や「教職員としての自覚や使命感・倫理観を高める研修」を実施するなど、学校内における職務や経験等に配慮した研修や、学習指導要領、情報教育、学校組織マネジメント等、今日的な課題に対応した研修の充実を図る。

- **国学習支援等大学生派遣事業** [6,000千円]

富山大学・富山国際大学・金沢大学の教員志望大学生を指導補助者等として小・中・義務教育学校に派遣する。

- 学びのアシスト派遣
 - スタディ・メイトジュニア派遣
 - 観察実験アシスタント派遣
 - 心のサポーター派遣
 - 英語学習パートナー派遣
- (小中学校課)

- **現職教員(20名)の富山大学教職大学院への派遣** [13,536千円] (教職員課)

- **大学、研究機関、企業等への内地留学や海外研修の実施** [2,108千円]
(県立学校課、小中学校課)

- **大学院修学休業制度や認定講習制度を活用した、教員の専修免許状等の取得の促進や資質向上** [225千円] (教職員課)

- **教師力向上支援事業** [4,800千円]

今日的な教育課題に対応していく資質を涵養するため、教員を国内外の教育事情視察などに派遣する。

- **教師の学び支援塾事業** [1,500千円]

教育実践に優れた授業力向上アドバイザーや退職教員等を活用し、熟達教員の持つ優れた教科指導、生徒指導、進路指導、部活動の指導など、学校教育における指導上のノウハウを、研修等を通じて若手教員に伝承する。
(県立学校課)

2 子どもの可能性を引き出し、才能や個性を伸ばす教育の推進

- **授業力向上対策事業** [1,200 千円]
小・中・義務教育学校教員の授業力向上のための研究活動を支援する。
- **とやま型学力向上総合支援事業** [P.10 に事業概要] (小中学校課)
- **☒ ICT教育推進事業** [P.12 に事業概要] (県立学校課)
- **GIGAスクール構想推進事業** [P.12 に事業概要] (小中学校課)
- **指導力向上特別研修事業** [2,406 千円]
指導が不適切と判定された教員に対して、指導力回復のための研修を実施し、学校現場への復帰を支援する。 (教育企画課)
- **生徒指導や教育相談に関わる教員の資質向上**
生徒指導セミナーや学校カウンセリング講座等の研修機会の充実を図る。
(県立学校課、小中学校課)
- **進路指導に関わる教員の資質向上** [70 千円]
進路指導講演会、事例発表や校種ごとに分かれての研究協議を実施する。
- **特別支援学校障害種別研修** [566 千円]
特別支援学校に在籍する子どもの障害の重度・重複化に対応するため教員の資質向上を図る。
- **資源・エネルギー教育推進事業の実施** [3,000 千円]
資源・エネルギー教育を推進するため、学習教材の作成や指導方法の工夫改善等について各学校を支援する。 (県立学校課)
- **外国人児童生徒に対する日本語指導や生活適応指導等の充実** [10,778 千円]
外国人児童生徒の多い学校へ日本語指導担当教員や外国人相談員の配置などを行う。
(教職員課)
- **☑外国人児童生徒教育推進事業** [2,400 千円]
「外国人児童生徒教育の手引」の作成、関連機関と連携・協力した指導体制の構築（運営協議会の開催）等、学校における指導体制の構築、研修の充実等を図る。 (小中学校課)
- **集団登山引率者講習会の開催** [841 千円]
安全な登山の実施のため、教員を対象とした講習会を開催する。 (保健体育課)

2 子どもの可能性を引き出し、才能や個性を伸ばす教育の推進

- 「キャリア教育指導者養成研修」の開催

本県で実施される全国の教員を対象とした（独）教職員支援機構の研修との連携により、本県教職員の一層の資質向上を図る。

- 富山大学との教員相互の連携協力

富山大学教員が県総合教育センターの客員教授等として、教員研修及び調査研究等に連携協力し、教員の資質向上と教育研究の一層の充実を図る。

一方、県教育委員会は、富山大学に教員を派遣し、教員志望の学生対象の教材研究等に関する講義に協力し、教員養成の充実を図る。（教育企画課、県立学校課、小中学校課）

- 「富山学」推進事業

富山大学教育学部の学生を対象とした必修専門科目（科目名 地域教材研究「富山学」）を開設する。（小中学校課）

- 教員評価制度の実施

県内の小・中・義務教育学校、高等学校及び特別支援学校で、引き続き教員評価制度を実施する。

- 司書教諭の配置・養成 [375 千円]

すべての 12 学級以上の小・中・義務教育学校、高等学校及び特別支援学校に司書教諭を配置するとともに、現職教員の司書教諭資格の取得に努める。

- 少人数教育の推進や特別支援教育の充実に必要な教職員定数の確保

- ④「とやまで教員」応援事業 [8,600 千円]

意欲ある優秀な教員を安定的に確保するため、U I J ターンセミナー（東京・京都・名古屋）や教員養成講座を実施するほか、新たに若手教員によるリクルーター活動を展開する。

- 採用前研修事業 [500 千円]

富山大学と連携し、教員採用内定者を対象とした採用前研修を実施する。

- ⑤教員採用試験システムの整備 [19,000 千円]

教員採用試験の出願から合格通知発出までを電子化する「教員採用試験システム」を整備する。（教職員課）

2 子どもの可能性を引き出し、才能や個性を伸ばす教育の推進

- **学校多忙化解消推進事業** [1,038 千円]

「とやま学校多忙化解消推進委員会」の継続開催や保護者、地域、企業等に対して教員の働き方改革の普及啓発、その他働き方改革の取組みに必要な環境整備を行うことで、学校における多忙化を解消し、教員が児童生徒と向き合いやすい環境を整え、自らの資質能力を高める機会の確保を図る。

- **スクール・サポート・スタッフ配置事業** [284,588 千円]

公立学校にスクール・サポート・スタッフ(304校)を配置し、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための業務を含めた教員の学内業務の負担を軽減し、子どもと向き合う時間の確保を図る。

- **部活動指導員配置促進事業** [40,010 千円] [P.45、48にも記載]

公立中学校及び県立高等学校に部活動指導員(中学校125名、高校30名)を配置し、教員の負担軽減と競技力の向上を図る。
(保健体育課、教職員課)

- **高校版スクール・サポート・スタッフ配置事業** [152,320 千円]

県立学校にスクール・サポート・スタッフ(70名)を配置し、県教育委員会における障害者雇用を促進するとともに、教職員の学内業務の負担を軽減し、児童生徒と向き合う時間の確保を図る。
(教職員課)

- **結核健診及び生活習慣病予防健診の実施**

- **生活習慣病予防健診結果に基づく保健指導の実施**

- **長時間勤務教職員に対する医師による面接指導と臨時健診の実施**

- **ストレスチェックと高ストレス者に対する面接指導の実施** [計47,890千円]

- **人間ドック、女性検診の実施**

- **教職員・心の健康管理医によるカウンセリングの実施 等** [計34,371千円]
(保健体育課)

基本方針3 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進

【目標】

すべての子どもたちが、豊かな心を身につけ、たくましく生きるための健やかな身体を育むとともに、特別な支援が必要な子どもが、自立し、社会参加するための力を育むこと。

方向性① 豊かな心と健やかな体の育成

自己肯定感を身につけ、命を尊び、他者を思いやり支えあう心、感動する心を持った豊かな人間性とともに、心身の健康を保つ実践力とたくましく生きるための体力を育む。

社会の担い手となる児童生徒や若者の豊かな心を育み、よりよく生きようとする規範意識や公共心を身につけるなど道徳性の涵養を図る。

また、学校と家庭、地域・関係機関が一体となり、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、スクールロイヤー等の専門家の活用による相談体制の一層の充実を進める。さらに、子どもたちの運動の習慣化や体力向上に取り組むとともに、食を大切にすることを育む食育及び健康教育を推進する。

- **社会性や自立心、規範意識、思いやりの心などの育み**

学校の教育活動全体を通して、児童生徒に社会性や自立心、規範意識、思いやりの心などの豊かな人間性を育み、自由と規律がバランスよく身につくよう努める。



さわやか運動

- **児童生徒の自己指導能力の育成**

児童生徒がやり遂げた喜びや学ぶ喜びを味わえる学習活動の展開、役割分担を明確にしながら組織的・計画的に対応できる生徒指導の推進等により、社会の変化に主体的に対応できる自己指導能力を育成する。
(県立学校課、小中学校課)

- **いのちの教育総合支援事業(国委託事業)** [P. 27 に事業概要]

- **とやまの小・中学生ライフプラン教育充実事業** [P. 14 に事業概要] (小中学校課)

- **とやまの高校生ライフプラン教育充実事業** [P. 14 に事業概要] (県立学校課)

3 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進

- **社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業**

(県内全公立中学校 74 校(分校 1 校含む)、義務教育学校 3 校)

[15,046 千円] [P.6、14、27、50 にも記載]

規範意識や社会性を高め、将来の自分の生き方を考えるなど、生涯にわたってたくましく生き抜く力を身につけるため、中学 2 年生が 5 日間、地域で職場体験活動や福祉・ボランティア活動等に取り組む。



社会に学ぶ「14歳の挑戦」

- **道徳教育総合支援事業(国委託事業)** [683 千円] [P.27 にも記載]

道徳教育推進講演会の開催、研修会等への講師の招へい等を通して、道徳教育の一層の推進を図る。

- **人権教育研究推進事業(国委託事業)** [P.27 に事業概要]

(小中学校課)

- **人権教育総合推進事業** [P.27 に事業概要]

(生涯学習・文化財室)

- **小学校へのスクールカウンセラーの配置** [67,373 千円]

県内全公立小学校(174 校)にスクールカウンセラーを配置する。

- **中学校等へのスクールカウンセラーの配置** [78,759 千円]

県内全公立中学校(73 校)、義務教育学校(3 校)にスクールカウンセラーを配置する。

- **高校へのスクールカウンセラーの配置** [19,140 千円]

県立高等学校(拠点 16 校)にスクールカウンセラーを配置し、拠点校でのカウンセリング、その他の高等学校への巡回支援等を行う。

- **教育事務所管理カウンセラーの配置** [15,633 千円]

教育事務所に臨床心理士等の専門家を配置し、緊急に支援が必要な学校への一定期間の派遣や困難事例の支援を行う。

- **いじめ対策カウンセラーの派遣** [6,465 千円]

解決困難ないじめ等の事案発生時に、加害者や周りの児童生徒との面談を通して心のケアを行う。

(小中学校課)

3 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進

- **スクールソーシャルワーカーの派遣** [26,493 千円]
社会福祉士等を 14 市町村の全中学校区、義務教育学校に派遣するとともに、高等学校 4 校を拠点に、その他の高等学校へも派遣することで、問題を抱える児童生徒の家庭環境等の改善を支援する。
- **いじめ対策ソーシャルワーカーの派遣** [3,910 千円]
家庭環境等に起因するいじめ等の事案発生時に、いじめの加害者や保護者等に働きかけ、家庭環境の改善を図る。
- **いじめ防止対策推進事業** [1,045 千円] [P.27 にも記載]
関係機関・団体からなる「いじめ問題対策連絡会議」及び県教育委員会附属機関「いじめ防止対策推進委員会」を活用し、「富山県いじめ防止基本方針」に基づいて、いじめ防止対策を推進する。
- **24 時間いじめ相談電話の設置** [8,444 千円]
児童生徒や保護者の電話相談に常時対応するため、総合教育センターに 24 時間対応の「いじめ相談電話」を設置する。
- **不登校児童生徒に対する支援推進事業** [2,481 千円]
不登校やひきこもり等児童生徒の諸課題に対応するため、訪問指導員を県総合教育センターに配置し、市町村の適応指導教室等を支援するとともに、フリースクール等との連携を推進する。
- **子どもと親の相談員の配置** [2,348 千円]
支援を必要とする公立小学校等に、児童や親が気軽に相談できる「子どもと親の相談員」を配置する。
- **スクールロイヤー活用事業** [1,446 千円]
県立学校や市町村教育委員会から要請があった場合、法的側面から支援する。
(小中学校課)
- **生活指導主事の配置**
各教育事務所にいじめや不登校等の諸課題に専門的に対応する生活指導主事を配置する。
(教育企画課、教職員課)
- **子どもほっとライン事業** [1,354 千円]
子ども(小学生～18 歳程度)が、電話相談員(大学院生等)に気軽に学校生活の悩みや質問ができる相談活動を実施する。
(生涯学習・文化財室)

3 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進

- とやま元気っ子スポーツライフサポート事業 [P. 45 に事業概要]
- スポーツエキスパート派遣事業 [P. 45 に事業概要]
- ㊦とやまっ子ワクワク運動体験応援事業 [P. 45に事業概要]
- 「朝から元気とやまっ子」食育・健康教育推進事業(学校保健関係) [686 千円]
[P. 8 にも記載]
健康づくりノート(とやまゲンキッズ作戦)を活用した健康教育や健康管理の充実を図る。
- 学校給食の衛生管理の状況調査・改善指導
県内7カ所の給食施設を巡回し、衛生管理の徹底を図るための改善指導を行う。
- 栄養管理等の研修会の開催
県内の栄養教諭・学校栄養職員を対象に、年2回、学校給食管理や食に関する指導について
研修会を行う。(保健体育課)
- 栄養教諭等の配置 (教職員課、保健体育課)
- 学校での健康教育等の推進と家庭における健康づくりの支援
児童生徒の健康診断結果等を分析し、生活習慣病等の予防対策を実施する。
また、健康な生活習慣づくり、歯科保健、近視予防、性感染症予防、喫煙・飲酒・薬物乱
用防止、がん教育等について、実践活動の研究や啓発普及を行う。
- 薬物乱用防止教室講習会
薬物乱用の有害性・危険性を啓発し、薬物乱用防止教育の充実を図るため教員等を対象に
講習会を開催する。(保健体育課)

方向性② 少人数教育と校種間連携の推進

少人数指導と少人数学級それぞれの良さを活かした効果的な少人数教育の充実を図るため、少人数指導体制を維持しながら、少人数学級の拡充に取り組む。

また、小学校における専科指導体制の拡充により、高学年での教科担任制の充実に取り組む。

小学校入学時の保護者の不安解消や指導者の相互理解を深める合同研修会等の実施による幼稚園・保育所・認定こども園から小学校への円滑な連携・接続、また、中学校進学時の新しい環境での学習や生活への円滑な連携・接続を推進する。

- 少人数教育推進事業 [300,518 千円]

国の計画に2年先行した小学校5年生の35人学級の実施とともに、少人数指導と組み合わせた効果的な少人数教育推進のため、教員を増員するとともに非常勤講師を配置する。

- 小学校1～5年生での35人学級の実施

- 小学校3年生～中学校3年生での少人数指導の実施

- 小学校専科教員配置事業 [43,270 千円] [P.11、15にも記載]

中学校との円滑な接続を図るとともに、小学校高学年で実施される教科担任制を見据え、英語の教科化や理科などの学習内容の高度化に対応するため、かつ、小学校教員の負担軽減のため、小学校3～6年生を対象に専科教員として、正規教員や非常勤講師を配置する。

(教職員課)

- 幼児教育の質の向上推進事業 [P.10に事業概要]

(小中学校課)

- 外国人児童生徒教育推進事業 [P.17に事業概要]

(小中学校課)

- 学びの体験オープンハイスクール事業 [453 千円] [P.28にも記載]

中学3年生が、各高等学校の教育内容の理解を深め、明確な目的意識を持って進学できるようにするための体験入学期間を設けるとともに、地域への授業公開を進めることで中高の円滑な接続、地域に信頼される学校づくりを推進する。

- 高大連携未来を拓く人材育成事業 [1,700 千円]

県内大学等と県立高等学校が連携し、大学教員・大学院生等が関わる専門性の高い特別授業や、探究科学科設置校による合同発表会等を開催する。

(県立学校課)

方向性③ 特別支援教育の充実

インクルーシブ教育システムの構築に向け、特別な教育的ニーズのある子どもの通常の学級や通級による指導、特別支援学級、特別支援学校と、連続性のある「多様な学びの場」を整備する。

また、障害のある子どもに合った多様な指導法や支援体制を充実し、適切な合理的配慮の提供を行うとともに、教員の指導力向上を図る。

- **とやまの特別支援教育強化充実事業** [9,702千円] [P.29にも記載]

障害のある子どもが小学校就学前から高等学校卒業後に至るまでの各段階に応じて十分な指導と支援を受けられるよう、早期からの相談体制の整備、学校への支援の充実、就労支援の充実、教員の専門性の向上に向けた取組み等による特別支援教育の強化充実を図る。

- 一人一人の教育的ニーズに応じた合理的配慮の提供に向け、専門的な指導助言を行う小中学校巡回指導員2名、高等学校巡回指導員2名を配置し、学校への支援を充実
- オンデマンド研修コンテンツを作成し、研修機会を充実することにより教職員の専門性を向上
- 手話及び手話言語条例の普及・啓発を促進するため、手話使用者の講師を派遣し、学校の取組みを支援

- **特別支援教育ICT活用パイロット事業** [4,000千円] [P.29にも記載]

障害のある子供たちの可能性を広げるため、ICT機器を活用した学習指導の充実を図る。また、医師によるオンラインの助言を活用することにより安心で質の高い医療的ケアを実施できる体制を構築する。

- 分身ロボットを活用した遠隔教育や交流及び共同学習の実施
- AR・VRを活用して、造形活動や実験などの体験的な学習を充実
- 医療的ケアの手技に対する医師によるオンライン助言

- **特別支援教育体制整備支援事業** [2,200千円]

幼稚園や小中学校等に在籍する特別な支援を必要とする幼児児童生徒に対する支援の充実のため、市町村の特別支援教育体制整備の取組みを支援する。

- 体制整備に向けた研修会の実施や普及啓発資料の作成
- 市町村や小中学校等の特別支援教育体制整備プランの作成支援

• **☒特別支援学校就労応援事業** [7,558 千円] [P. 30 にも記載]

特別支援学校高等部に在籍する生徒の就労による自立と社会参加に向け、特別支援学校・企業・家庭・教育委員会が一体となって、さらなる就労支援の連携体制づくりを推進する。

- ・ 就業体験受入れ先の拡大に向けた特別支援学校就労応援コーディネーター2名及び職場定着に向けた障害者就労定着サポーター1名の配置
- ・ 就業体験等の協力企業による「特別支援学校就労応援団とやま」への登録促進と障者雇用の理解啓発
- ・ 早期からの仕事体験や職場見学の機会を充実し、キャリア教育や就労支援を充実



製造工場での就業体験

• **☒特別支援学校医療的ケア体制整備事業** [57,845 千円]

医療的ケアが日常的に必要な児童生徒等が在籍する県立特別支援学校への看護師配置を行うことにより、児童生徒が健康で安全に学校教育を受けることができる環境を整備する。

• **特別支援学校通学運営** [250,565 千円]

特別支援学校に通学する児童生徒の安全確保や遠距離通学に伴う負担の軽減、保護者の送迎に対する負担軽減を図るため、通学バスを運行する。

• **特別支援学校通学バス感染症対策事業** [164,898 千円]

特別支援学校の通学バスの運行にあたり、新型コロナウイルス等の感染防止対策として、臨時増便により乗車率を抑え、通学時のリスクの軽減を図る。 (県立学校課)

• **特別支援学校教諭免許状取得推進事業** [677 千円]

特別支援学校教諭免許状の取得に必要な単位を集中開講し、現職教員の資質向上を図る。

• **特別支援学校司書配置事業** [2,290 千円]

特別支援学校における学校図書館の充実を図り、児童生徒の読書意欲の向上や情報活用能力の育成を目的として、県立特別支援学校に巡回学校司書を配置する。 (教職員課)

• **特別支援学校建設事業** [P. 29 に事業概要]

• **特別支援学校の整備、修繕等** [P. 29 に事業概要]

(教育企画課)

方向性④ 人権や思いやりの心を大切にする教育の推進

いじめや偏見・差別をなくし、互いに尊重し合い、好ましい人間関係を築く心と態度を育成する。

- **いじめ防止対策推進事業** [P. 22 に事業概要]
- **社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業** [P. 21 に事業概要] (小中学校課)
- **人権教育総合推進事業** [1,905千円] [P. 21にも記載]
人権教育に関する研修会を開催するとともに、啓発資料を作成・配布し、人権尊重についての認識をさらに深めるよう努める。(生涯学習・文化財室)
- **人権教育研究推進事業(国委託事業)** [200千円] [P. 21にも記載]
学校における人権教育に関する指導方法の改善・充実のため、モデル校を指定し、実践的な研究を行う。
- **いのちの教育総合支援事業(国委託事業)** [1,311千円] [P. 20にも記載]
いのちの先生の派遣やいのちの教育講演会の開催、メッセージカードの活用等を通して、学校と家庭が一体となった、いのちの教育の推進を支援する。
- **道徳教育総合支援事業(国委託事業)** [P. 21 に事業概要] (小中学校課)

基本方針4 社会の変化と多様なニーズに対応した 高校や大学等の教育環境の充実

【目標】

様々なニーズに対応した教育環境の整備が進められ、子どもや若者が未来に希望を持って、魅力ある教育を受けられること。

方向性① 県立学校の教育環境の整備・充実

少子高齢化やグローバル化、第4次産業革命の進展など、教育を取り巻く環境が大きく変化し、今後の中学校卒業予定者数の大幅な減少が見込まれる中、より魅力と活力のある県立高校の教育のあり方について検討していくとともに、教育活動の充実や教育形態の改善、安全・安心な教育環境の整備に取り組むなど、本県の高校教育の一層の充実に努める。

- 県立学校教育振興計画の推進 [600 千円]
「県立学校教育振興計画 基本計画」に基づき、生徒の学習環境の整備等を着実に推進するために必要な施策を実施する。
- 教育改革に係る調査研究 [1,000 千円]
有識者による検討会を開催し、時代のニーズに即した高校教育充実のための方策など県立高校の今後の基本的な方向性について検討を行う。
- ㊦とやま新時代創造プロジェクト学習推進事業 [15,500 千円] [P. 11 にも記載]
課題発見・解決能力の育成に向けてプロジェクト学習を全県立学校で実施し、文理の枠にとらわれない教科等横断的なSTEAM教育を推進する。
- 学びの体験オープンハイスクール事業 [P. 25 に事業概要] (県立学校課)
- 県立学校普通教室空調更新事業 [104,774 千円]
老朽化した県立学校普通教室の空調を更新する。
- 県立学校校舎外壁診断 [10,384 千円]
建築基準法の規定に基づく校舎外壁診断を行う。
- 県立学校天井落下防止対策 [32,848 千円]
県立学校3校の特別教室等の天井落下防止対策等を行う。 (教育企画課)

4 社会の変化と多様なニーズに対応した高校や大学等の教育環境の充実

- **Ⅷ 高等学校建設事業** [1,742,189 千円]
魚津工業高校武道場改築、桜井高校武道場改築の実施設計、富山工業高校自転車置場整備、氷見高校艇庫改築、滑川高校及び砺波工業高校長寿命化改修等を行う。
- **運動場等整備費** [122,778 千円]
中央農業高校及び雄山高校グラウンドの改修、高岡高校テニスコートの改修等を行う。
- **学校修繕費（全日制・定時制）** [791,600 千円]
校舎等の修繕、防災対策やコロナ対策等を行う。
- **㊦ 農業教育環境整備事業** [67,637 千円] [P. 14 にも記載]
農業学科を有する高校に、先進農業機械を整備する。
- **科学技術教育設備充実費** [25,986 千円] [P. 14 にも記載]
産業教育設備等の整備を進める。 (教育企画課)
- **ICT教育推進事業** [P. 12 に事業概要]
- **とやまの特別支援教育強化充実事業** [P. 25 に事業概要]
- **特別支援教育 ICT活用パイロット事業** [P. 25 に事業概要]
- **特別支援学校就労応援事業** [P. 26 に事業概要] (県立学校課)
- **特別支援学校建設事業** [144,000 千円] [P. 26 にも記載]
高岡支援学校小学部棟増築に向けた実施設計・仮設渡り廊下等の建設を行う。
- **特別支援学校の整備、修繕等** [204,166 千円] [P. 26 にも記載]
校舎等の修繕、教育設備の整備等を進める。 (教育企画課)

方向性② 私立学校教育の振興

私立学校の独自の建学の精神に基づく特色ある教育や魅力ある教育環境を整えるための施設・設備整備、経営健全化に対する取組みに対して支援するとともに、保育料や授業料等の教育費負担の軽減に努める。

- **私立学校経常費補助金（一般分）** [2,132,018千円]
私立学校（幼稚園、小学校、中学校、高等学校）における教育研究に必要な経常的経費（教職員の給与費、教育研究経費など）に対して支援する。
- **私立高等学校特色教育振興事業費補助金** [180,375千円]
スポーツ・文化活動、少人数教育、キャリア教育、ICT環境整備等の特色ある教育や、特別支援教育、教育相談体制充実等の多様な教育ニーズに対応した教育環境整備に対して支援するとともに、私立学校が自ら行う安全確保や経営健全化の取組みに対しても支援する。
- **私立幼稚園教育振興費補助金** [57,971千円]
教育相談や複数担任制の実施、小学校との連携、伝統芸能の承継、食育・環境教育の推進等の特色ある教育に対して支援する。
- **〇私立専修学校特色教育振興事業費補助金** [22,000千円] [P.36にも記載]
教育内容高度化や就職指導強化、産学官連携推進等の特色ある教育に対して支援する。
- **私立高等学校教育環境整備充実事業費補助金** [3,000千円]
特色教育推進施設、屋外教育環境等の整備に対して支援する。
- **私立幼稚園等教育環境整備事業費補助金** [2,346千円]
緑化の推進や保育室等の改修、屋外運動広場等の整備に対して支援する。
- **私立専修学校各種学校施設設備整備費補助金** [11,500千円]
大型設備や教育機器、専門ソフト・図書等の整備に対して支援する。
(経営管理部所管事業)

- **高等学校等就学支援金等** [1, 257, 936 千円]
すべての意志ある生徒が安心して教育を受けられるよう、一定の収入額（年収 910 万円程度）未満世帯の生徒等を対象に高等学校等の授業料に充てるための「就学支援金」を支給する。
また、高等学校等を中途退学した者が再び高等学校等で学び直す場合に、「学び直しへの支援」として、就学支援金支給期間経過後も継続して授業料の支援を行う（最長 1 年）。
- **私立高等学校生徒奨学補助金** [112, 152 千円]
就学支援金の支給に加え、授業料、入学時納付金の減免を行う学校法人に対して支援する。
- **☒私立高等学校等奨学給付金** [70, 300 千円]
授業料以外の教育費負担を軽減するため、私立高等学校等に通う低所得世帯の生徒に対して「奨学のための給付金」を支給する。
（生活保護世帯：52, 600 円（ただし、専攻科 52, 100 円）、その他の低所得世帯の第 1 子：134, 600 円、第 2 子以降：152, 000 円、通信制：52, 100 円、専攻科：52, 100 円）
- **☑私立小中学校生徒奨学補助金** [2, 352 千円]
家計が急変した世帯の授業料の減免を行う学校法人に対して支援する。
- **施設型給付費支援事業** [1, 341, 708 千円]
幼児教育の無償化実施に係る経費を含む、私立幼稚園、認定こども園等の運営、質の改善を支援する。
- **子育て支援施設等利用給付費** [29, 761 千円]
幼児教育無償化の実施により、私立幼稚園の利用に要する費用の一部を負担する。
- **私立専門学校の授業料等減免事業費補助金** [101, 271 千円]
私立専修学校に通う低所得世帯の生徒について、授業料及び入学金の減免を行う。
- **専門学校生の経済的支援実証研究事業** [3, 000 千円]
私立専修学校に通う低所得世帯の生徒について、授業料減免や修学支援を行うとともに、その教育的効果検証のための調査を行う。
(経営管理部所管事業)

方向性③ 大学教育・学術研究の振興

県内外の多くの優秀な学生を確保するため、教育水準の向上や学術研究の強化、相互の連携の活性化など県内高等教育機関の魅力向上に向けた取組みを支援するとともに、地域の課題解決や若者の県内定着を推進するため、県内高等教育機関との連携協力を積極的に取り組む。

県立大学の教育研究分野の拡充や定員増など、地方創生の一翼を担い、地域間競争を勝ち抜く魅力ある大学づくりへの支援を行う。

- **4年制私立大学に対する寄附講義** [3,000千円]
地域に貢献する人材の育成に寄与し、学生にとって魅力ある内容の講義を、富山県の寄附講義として実施し、4年制私立大学の教育の充実・活性化を支援する。
 - **(公財) 富山県ひとづくり財団運営費補助金及び高等教育振興事業費補助金**
[8,751千円]
富山県ひとづくり財団の運営費及び富山県ひとづくり財団が行う研究助成事業、私立大学振興事業などの高等教育振興に関する助成に対し支援する。
 - **大学コンソーシアム富山事業費等補助金** [7,867千円]
単位互換、県内企業訪問、グローバルチャレンジ入門講座など、県内高等教育機関が連携して行う教育・学生支援や地域貢献の取組みに対し支援する。(経営管理部所管事業)
 - **とやま未来創生産学官連携推進会議開催事業** [760千円]
産学官のコンソーシアムにより、研究開発・人材育成を幅広く推進する。
(地方創生局所管事業)
- 【「くすりのシリコンバレー TOYAMA」創造コンソーシアムの推進】
- **地方大学・地域産業創生くすりコンソーシアム推進事業** [997,000千円 ※]
県内産学官連携による医薬品産業の振興や専門人材の育成・確保を推進する。
(※ とやま未来創生産学官連携推進会議開催事業の予算額 760千円を含む) (厚生部所管事業)

4 社会の変化と多様なニーズに対応した高校や大学等の教育環境の充実

【とやまアルミコンソーシアムの推進】

☒ アルミ産業成長力強化戦略推進事業 [77,990千円]

県内アルミ産業振興のため、アルミの特性を活かした研究開発プロジェクトの事業化支援や人材育成を推進するとともに、アルミのリサイクル（グリーン化）及び県内アルミバリューチェーン内のCO₂排出量見える化の取組を支援する。

【とやまヘルスケアコンソーシアムの推進】

☒ ヘルスケア産業育成創出事業 [55,363千円]

産学官連携によるヘルスケア分野の新製品開発や事業化のための試作実証や技術的課題の解決に向けた取組等を支援する。
(商工労働部所管事業)

• 公立大学法人富山県立大学運営費交付金 [2,732,137千円]

県立大学の大学運営や教育研究に必要な標準的経費（教職員の給与費、教育研究経費など）や退職手当等の特定経費に対し支援する。

• 県立大学学科拡充等推進事業費補助金 [783,674千円]

☑ 県立大学大学院看護学研究科・看護学専攻科整備事業 [112,500千円]

☑ 県立大学DX教育研究センター運営事業費補助金 [78,700千円]

県立大学学生募集活動費補助金 [42,300千円]

県立大学県内就職定着促進事業費補助金 [20,279千円]

☑ 県立大学におけるデータサイエンス人材の育成に向けた検討費 [4,350千円]

令和4年4月に開設するDX教育研究センターにおいて、産学官金の連携教育研究拠点として、DXを担う人材育成と研究を推進する。

また、大学院看護学研究科及び保健師・助産師を育成する看護学専攻科設置の準備を進めるとともに、県内就職率の向上のため、成長を続ける大学イメージの戦略的な広報等による学生募集活動の強化、学生の県内定着に向けた就職支援の充実のほか、計画的な施設更新等に対して支援する。

(経営管理部所管事業)

4 社会の変化と多様なニーズに対応した高校や大学等の教育環境の充実

- ⑧ **ポートランド起業・ビジネス研修実施事業** [9,800千円]

県内大学生等の起業家マインドを醸成するため、「起業の街」である米国オレゴン州ポートランド等において、起業家支援施設やベンチャー企業、大学等への訪問や、グループワークなどの研修を実施する。

- ⑨ **県内大学生等留学支援事業** [5,600千円]

海外に留学する県内大学生等を経済的に支援するため、県内企業への一定期間勤務を返還免除要件とした奨学資金を貸与する。

- **中国・大連での企業実地研修** [500千円]

県内高等教育機関の学生に対し、海外の日系企業においてビジネス現場を体験する機会を提供し、中国と日本との違い、現地の従業員・学生と自身とのギャップに気付き、また、国際社会の一員としての認識を持ち、グローバルな視点で活躍できる人材へ成長するため支援を行う。

(経営管理部所管事業)

基本方針5 生涯を通した学びの推進

【目標】

すべての世代の県民が、それぞれの目的やニーズ、社会の新たな課題に応じて、学習の機会や場を選択して学び、その成果を地域で還元し、活躍の場が提供されていること。

方向性① 多様な学習活動の支援

生涯学習講座の開催や、ライフステージに応じて県民一人ひとりが多様な学習機会を得られるよう支援する。

- 県民カレッジ本部の運営 [22, 143 千円]
夏季講座、カレッジ自遊塾等を開催する。
- 県民カレッジ地区センターの運営 [34, 266 千円]
- 富山県映像センターの運営 [6, 232 千円]
- つながる学びわくわく講座 [1, 941 千円] [P. 37 にも記載]
これからの時代に対応した「新たな形の学び」を行い、ふるさと富山について学びを深める中で、活力ある新時代のとやまの創造につなげる講座（31 講座）を実施する。
- 人生 100 年時代 生きがいづくり事業 [2, 800 千円]
「人生 100 年時代」の生き方を大きな視点で考える「生き方講座」と人生 100 年時代において、人生の新たなステージにおける働き方や生き方について学び考え、自らの人生設計を立てるきっかけとなる「特別講座」を実施する。
- はつらつ公民館学び支援事業 [P. 7 に事業概要]
- 青少年教育、女性教育、成人教育等の普及啓発を实践する社会教育団体の支援
[33, 271 千円]
(生涯学習・文化財室)

方向性② 県民の学習を支える基盤整備

県民にとって身近な学習機会に関する情報提供の充実や学習成果を学校、地域、企業等と連携して地域づくりなどに活用する「学び」と「活動」が循環する環境の整備を進める。

- 「とやま学遊ネット」の運用 [6, 292 千円] [P. 37 にも記載]
生涯学習情報のリアルタイムでの提供や、とやま公民館学遊ネットによる公民館からの地域情報発信を支援する。
- ④ 県立図書館電子書籍システム整備事業 [21, 000 千円]
ウィズコロナ下においても安心して図書館を利用できる非来館型サービスを提供するため、県立図書館に電子書籍システムを整備する。
- 県立図書館のサービス向上と利用促進 [146, 795 千円] (生涯学習・文化財室)

方向性③ キャリアを磨く実践的な学びの推進

大学等への社会人受入れなどのリカレント教育や、専修学校等が行う実践的な職業教育や専門的な技術教育など、生涯に何度でも学べる環境づくりを行い、県民ニーズに対応した多様な教育の充実に努める。

- 県立大学ビジネスパーソン・スキルアップ支援事業 [4, 800 千円]

社会人の学び直しのニーズに応えるため、既存のセミナーの枠組みを再構築し、従来の大学が提供する講座型（レディメイド型）セミナーに加え、新たに個々の企業等のニーズ等に応じたカスタムメイド型のセミナーを実施



県立大学ビジネスパーソン
スキルアップ支援事業

- リカレント教育等産学官連携推進事業 [2, 800 千円]
産学官が連携して本県におけるリカレント教育の普及・啓発を図る。
- ④ 私立専修学校特色教育振興事業費補助金 [P. 30 に事業概要]
- 私立専修学校等リカレント教育推進事業費補助金 [650 千円]
私立専修学校等が行う社会人等を対象とした短期間講座の開催に対して支援する。
(経営管理部所管事業)

基本方針6 ふるさとを学び楽しむ環境づくり

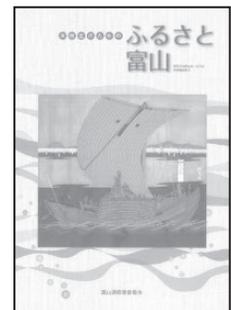
【目標】

子どもや県民一人ひとりが、ふるさとの自然、歴史・文化、産業等について学び、理解を深め、ふるさとへの誇りと愛着を育むこと。

方向性① 学校におけるふるさと学習の推進

郷土の自然、歴史・文化、産業や先人の英知や偉業、郷土の食文化等への理解を深め、ふるさとを思う心と広い視野に立って社会に貢献していこうとする態度を育む取組みを推進する。

- ふるさととやまの自然・科学探究推進事業 [P. 11 に事業概要]
- 郷土に対する理解や愛着心の育み
社会科や道徳科の時間における郷土の偉人や歴史、産業に関する学習活動、総合的な学習の時間や特別活動における伝統文化の伝承活動等を促進する。 (小中学校課)
- 高校生郷土史・日本史学習教材活用事業 [537 千円]
全ての県立高等学校において、デジタル化補助教材を用いた郷土史・日本史学習を行うとともに、補助教材の効果的活用に関する研修を実施する。
- 高等学校生徒海外派遣事業 [P. 15 に事業概要]
(県立学校課)



高校生郷土史・日本史学習補助教材
「高校生のためのふるさと富山」

方向性② 家庭、地域、企業等におけるふるさと学習の振興

家庭、地域、企業等が一体となって、ふるさとの自然や歴史、暮らし、産業等を学び、親しむ機会を充実し、ふるさと富山に誇りと愛着を育む取組みを推進する。

- はつらつ公民館学び支援事業 [P. 7 に事業概要]
- つながる学びわくわく講座 [P. 35 に事業概要]
- 「とやま学遊ネット」の運用 [P. 36 に事業概要]
- 「高志の国文学」情景作品コンクールの実施 [795 千円]

中高生を対象にふるさと文学を通して心に浮かぶ情景や心情を文芸や美術、写真で表現する作品を募集し、「ふるさと文学」に親しみ、郷土を一層深く理解しようとする機運を高める。
(生涯学習・文化財室)

方向性③ 高志の国文学館を拠点とするふるさと文学の振興

「大伴家持と越中万葉」をはじめ、富山の自然や風土、人の営みから生まれたふるさと文学を学び楽しむことを通して、ふるさとへの誇りや愛着を育むとともに、地域社会や全国、世界で活躍する人材を育成する。

- **文学を楽しもう！移動文学館事業** [900 千円]
ふるさと文学作品等の内容を小中学校に出張展示する。
- **ゆかりの作家ライブラリー事業** [1,000 千円]
富山ゆかりの作家等のインタビュー映像を制作し、常設展示室で展示する。
- **高志の国文学館 10 周年記念事業** [5,000 千円]
開館 10 周年を記念した特別講演会の開催や、大伴家持の生誕 1300 年を記念し創設された大伴家持文学賞・高志の国詩歌賞の第 3 回目となる募集・選考活動を実施する。
- **高志の国文学館企画展開催事業** [37,256 千円]
富山県ゆかりの文学やアニメ、映画など幅広いジャンルの企画展を開催する。

(生活環境文化部所管事業)



高志の国文学館企画展（太宰展）